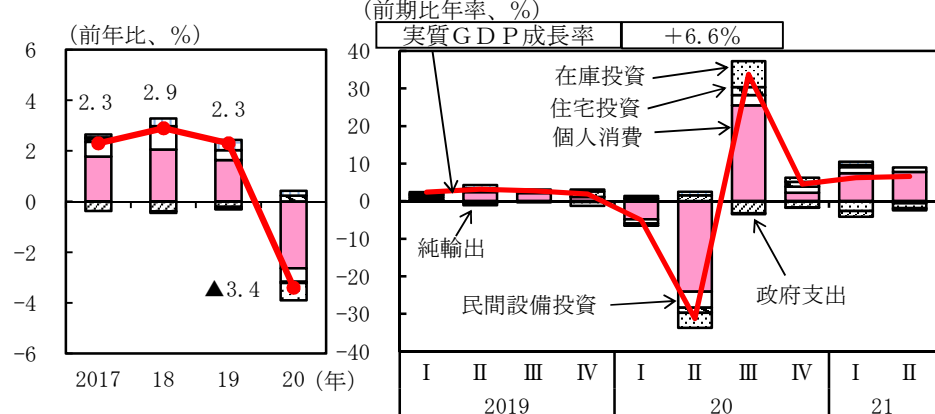


1. アメリカ

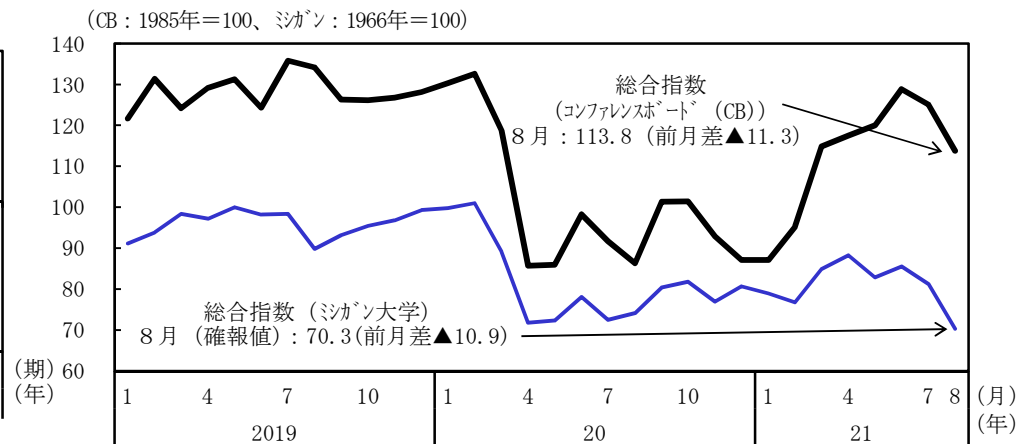
○アメリカでは、景気は着実に持ち直している。

①実質GDP成長率（2次推計値）
2021年4-6月期は前期比年率+6.6%成長

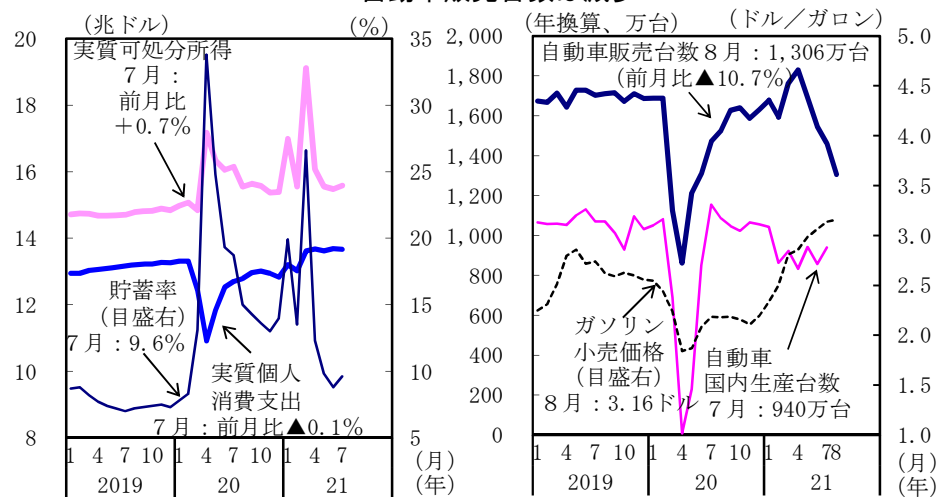


(備考) 2021年4-6月期の寄与度 (%) は以下のとおり。個人消費：+7.8、民間設備投資：+1.2、住宅投資：+0.6、在庫投資：+1.3、政府支出：+0.3、純輸出：+0.2。

消費者信頼感指数

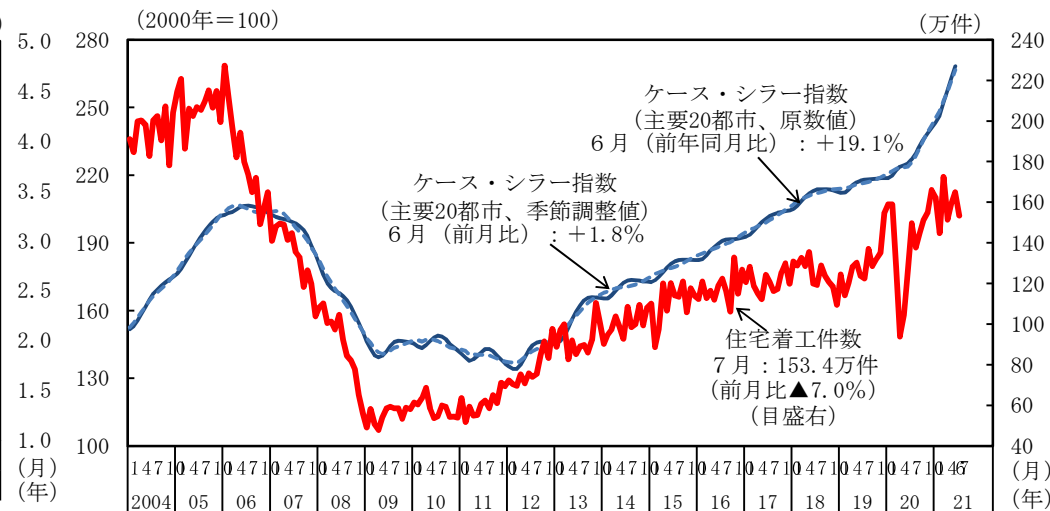


②消費は着実に持ち直し、
自動車販売台数は減少

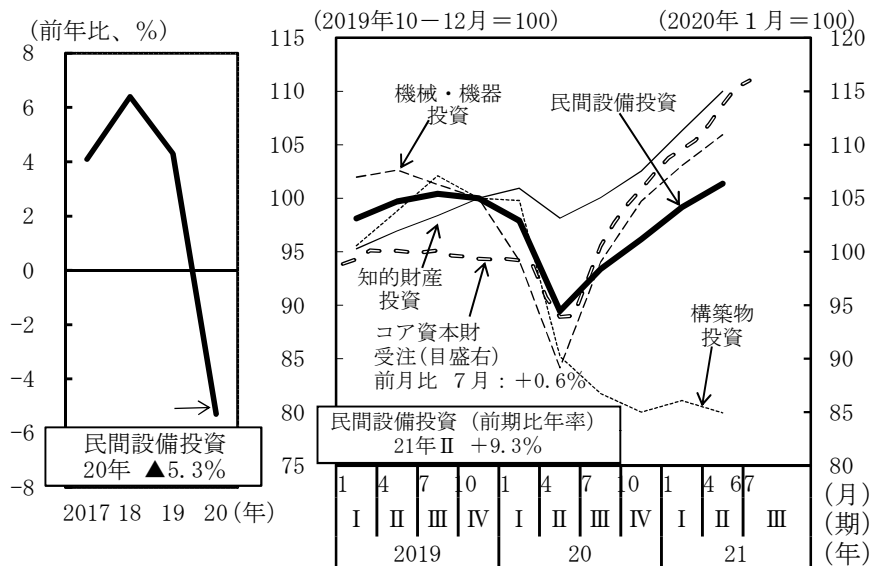


(備考) 月次の値は年率換算。

③住宅着工はこのところ増勢が鈍化、住宅価格は大幅に上昇

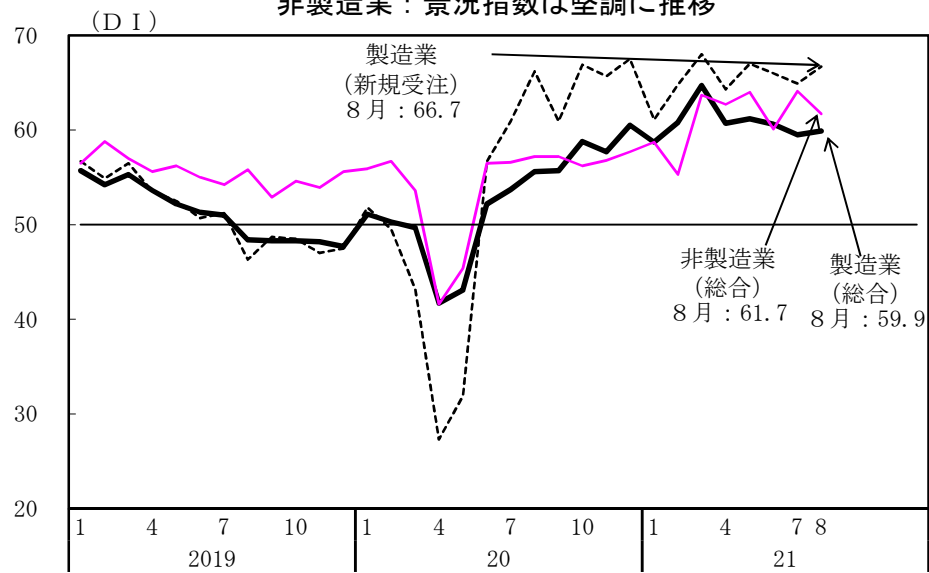


④設備投資は緩やかに増加

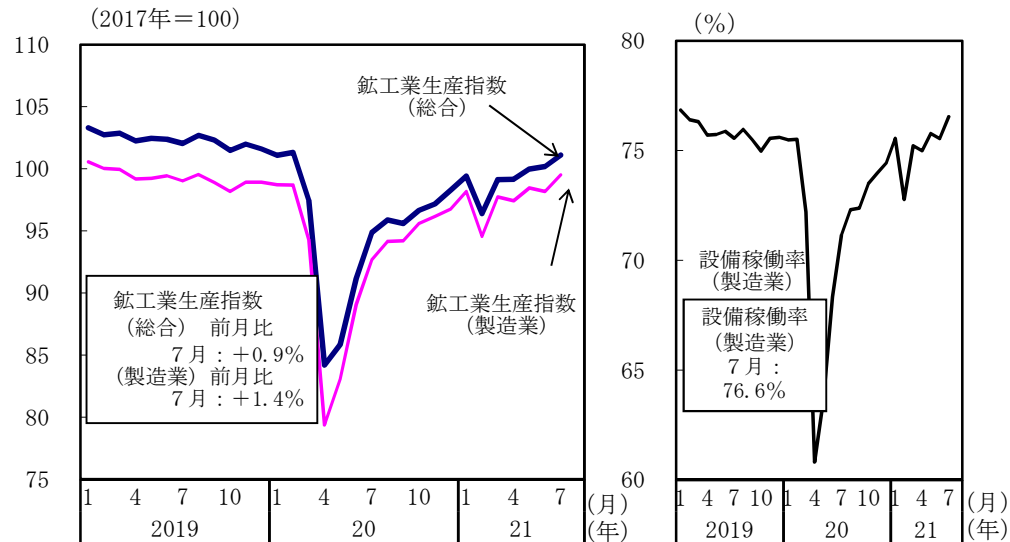


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

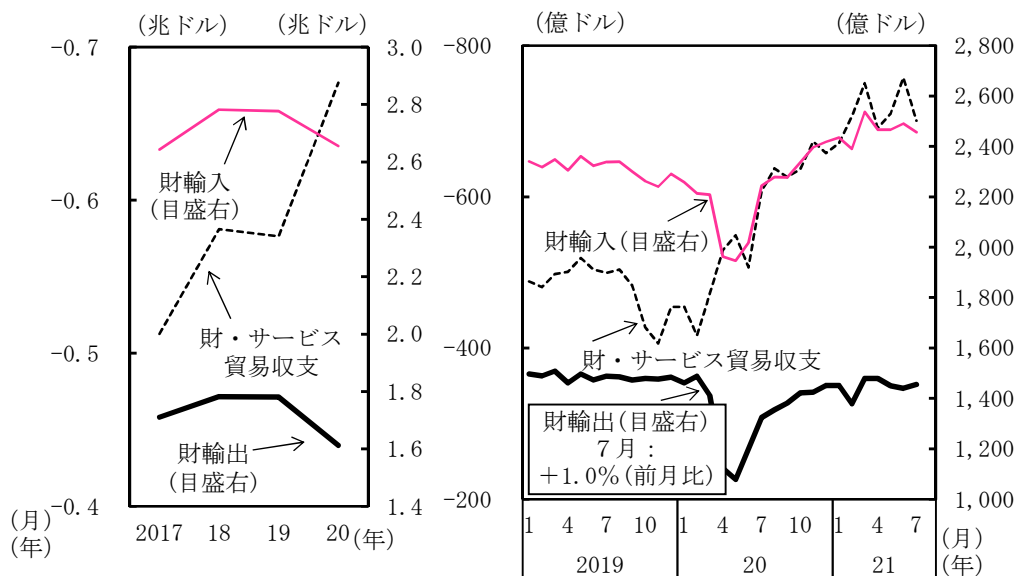
製造業 : 景況指数は堅調に推移
非製造業 : 景況指数は堅調に推移



⑤生産は持ち直し

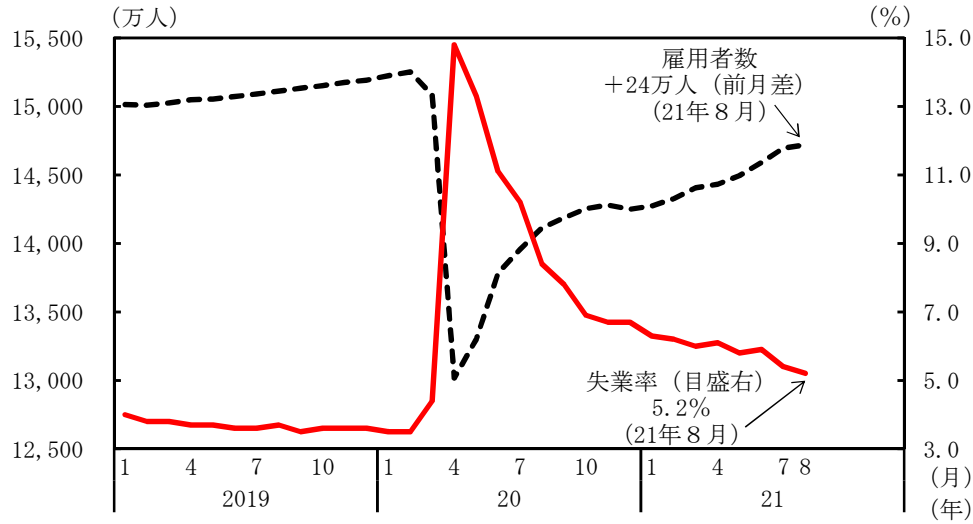


⑥財輸出は持ち直し



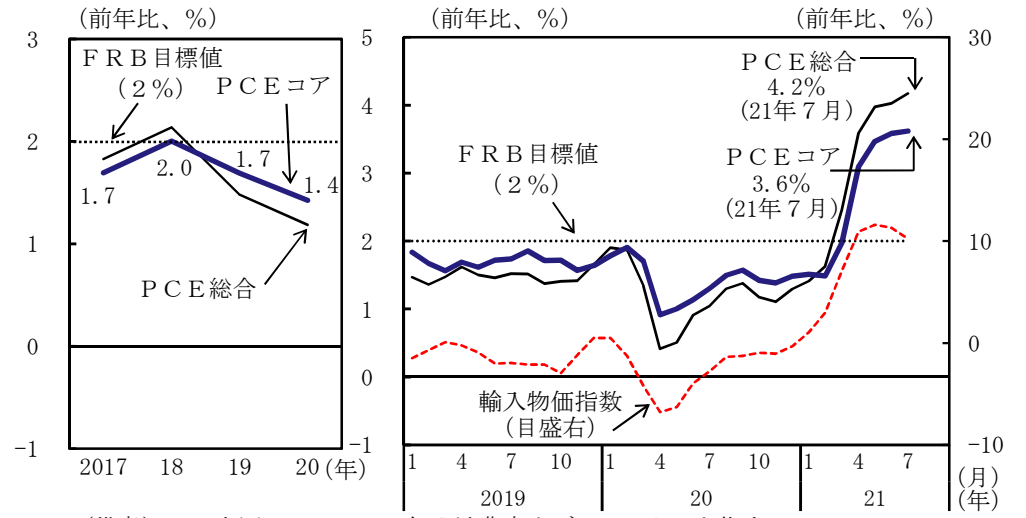
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

⑦雇用者数は増加、失業率は低下



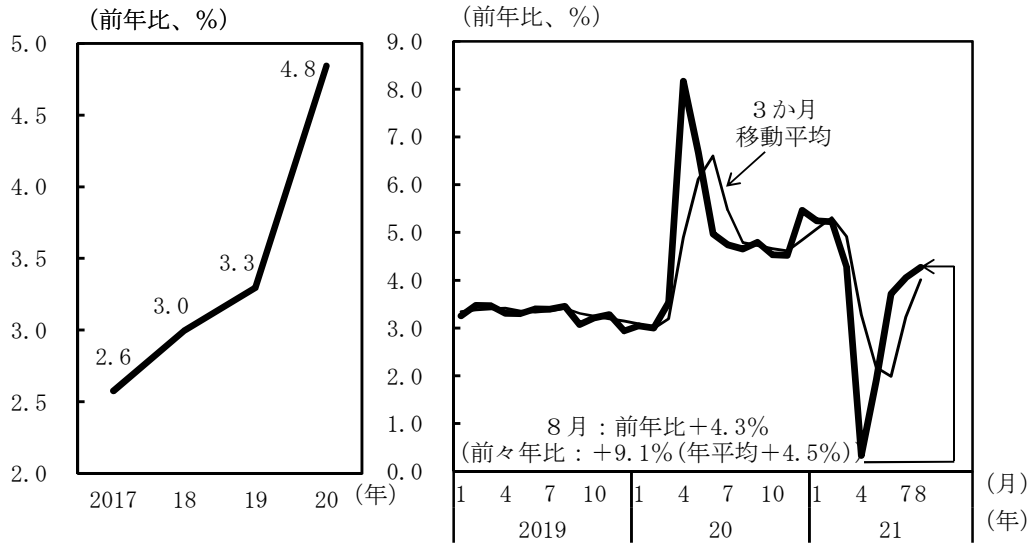
(備考) 雇用者数は非農業部門。

⑧コア物価上昇率は緩やかに上昇



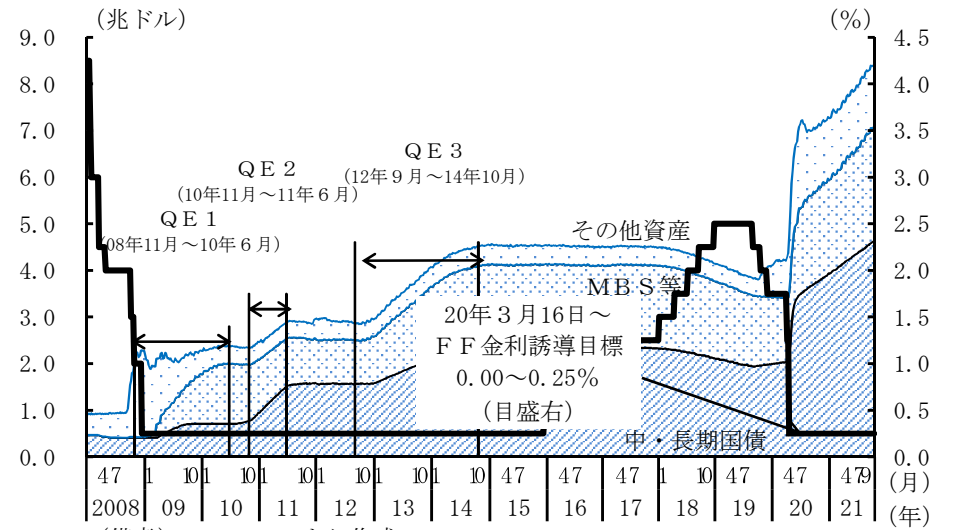
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びは上昇



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. F F金利誘導目標については、上限を指す。